

出会う 指頭を上にした人差指の両手を  
向い合わせて、左右から接近させて、両手  
つけ合わせる。

手洗い トイレット (イ) W.C. 指頭を上  
にした人差指と中指と薬指の三指の間を稍  
々ひろげるとWの形になる。次に親指を下  
に、他の四指を上にして、その間を開いて五  
指をまるく曲げてCの形をつくる。

(ロ) 両手をこすり合わせて洗う真似をす  
る。

定価 掲げた(「揭示」の手まね) — 金銭  
— いくら。

庭園 一旦「家」の手まねをして、左手を  
その姿態のままにして残し置き、その前の空  
間に、右手の下向けた掌をぐるりと前に弧に

廻して—池—山

庭球 右手でラケットを持って球を打つ身  
振。

低級 「下等」「下品」と同じ手まね。

抵抗 右腕肘を曲げて右へ突張る(肘鉄砲  
の形)

事主 (イ) 家—主人。(ロ) 夫

体裁 「表向き」と同じ手まね。

訂正 添削 「校正」と同じ手まね。

邸宅 家の大きさを表わす。即ち「家」の  
手まねをして、両手の指頭をつけたまま、両  
手を上へ張り家の屋根を大きくさせる。

町重 (イ) 「大切」と同じ手まね(町重に  
扱うこと) (ロ) 作法—叶う(町重な行いの  
こと)

定例 毎月(いつも—月) Vきまり(或は  
毎週(いつも—週))

約束) 曜日  
曜

手落ち 「漏らす」と同じ手まね。

手を引く 掌を内側にし五指の指頭を下にさした両手を前から胸もとへ斜めに引き寄せる。○○から手を引くの意。

手紙 「綴方」と同じ手まね。

手柄 腕前——名を挙げる（名高い）と同じ手まね。



敵 掌を内側にし五指の指頭を右にさした

左の甲に、掌を

前向け五指の指

頭を左にさした

右手の甲をびっ

たりとつけ合わ

せてから、右手

を前方へ左手を

手前へと引き離す。「別」の手まねにもなる。

適中 「云いあてる」と同じ手まね。

適度 「ちようど」（一致）と同じ手まね

適当 適する 「叶う」と同じ手まね。

手頃 「適度」と同じ手まね。

出来ない 「造る」の手まねの要領で、下の掌の上にたたき降したままの右手拳を前方へずらして離す。「造る」を否定したこと。即ち「出来ない」である。

出来る 「大丈夫」と同じ手まね。

手数 骨折り（右手拳で左の腕をたたく）

一面倒（右手の拳で頭の右上をたたく）

出鱈目 掌を内側にし、指頭を上にした

人差指と中指で交互に下口唇をたたく。

手伝い 骨折り——与える（右手掌を上にして物を与えるように前にさし出す）

徹夜 夜——終日。

鉄砲 「銃」と同じ。

手筈 考え——計画。

手本 「揭示」と同じ手まねをする。